

1989年の創立以来20年以上にわたる国際言語文化研究所の歩みは、まさしく20世紀末から21世紀にかけての世界史的転換と、従来当然としてきた様々な前提条件の崩壊を刻印していると言えます。私たちは、新しい時代にふさわしい共同性への思考という命題を、言語と文化という側面から追求していきたいと考えています。国民国家の再検討、グローバリゼーション批判、ジェンダー編成の考察、ディアスポラとしての移民の追跡、日本研究における視覚性の問題、あらたな社会構造における矛盾として浮上するグローバル金融資本主義がもたらす混乱や社会的暴力の蔓延、世界的な表現様式の変容など、多くの課題をプロジェクト研究として取り上げ、シンポジウム、出版物などで国際的に展開・発信しています。

主な研究テーマ

- **身体・性・ジェンダー・セクシュアリティをめぐる学際的研究**
人文・社会・自然科学における先行研究を踏まえながら、グローバル社会における価値観の流動化や新たな興隆に対応し、新しい社会提言も視野に含めたジェンダー関連研究プロジェクト
- **近現代におけるディアスポラの歴史と文化に関する研究**
近代世界が生み出した、形を変えつつグローバリゼーションと関連して、国民国家の形成を支えつつも、同時にその解体にも寄与してきた、多言語・多文化的なディアスポラに関する人文社会学的研究
- **視覚文化を中心とする日本研究**
映像、メディア、ヴィジュアル・アート、アニメーション、文学などを横断して、ポピュラー・カルチャーのみならずハイ・カルチャーをも分析対象としておこなう国際日本研究プロジェクト
- **先端的な言語学理論および言語教育実践を踏まえた言語文化研究**
コンピューターを活用した言語理論の精緻化や、言語学教育にたずさわる現場での問題発見・解決レベルに昇華させるための言語文化研究プロジェクト

紀要『立命館言語文化研究』の発行

本紀要は、研究所の研究成果のみならず、言語・文化・芸術・思想領域の研究成果発表の場として全学に開かれている。現在、年4回（通刊106号/現在23巻2号）刊行している。

単行書・叢書の発行

1993年度から現在までに通算21冊を刊行。

主な書籍

- **西成彦・原毅彦編**
『複数の沖縄—ディアスポラから希望へ』人文書院（2003）
- **姫岡とし子・池内靖子・中川成美・岡野八代編**
『労働のジェンダー化—ゆらぐ労働とアイデンティティ』平凡社（2005）
- **西成彦・崎山政毅編**
『異郷の死—知里幸恵、そのまわり』人文書院（2007）
- **米山裕・河原典史編**
『日系人の経験と国際移動—在外日本人・移民の近現代史』人文書院（2007）
- **中村純作・堀田秀吾編**
『英語教育とコーパスの接点』松柏社（2008）
- **西川長夫・高橋秀寿編**
『グローバリゼーションと植民地主義』人文書院（2009）
- **ウェルズ恵子編・大貫昌子訳**
『狼女物語』工作舎（2011）

資料の収集

約6万4千冊。主に文学、ジェンダー、移民関係書を収集している。なかでも日系移民研究の資料収集は国内有数。

近年の主なシンポジウム

- **連続講座《グローバル・ヒストリーズ》シリーズ**
1994年から2009年まで全21シリーズに及ぶ《国民国家と他文化社会》を実施。2010年からはその成果をふまえて新シリーズ《グローバル・ヒストリーズ》を開始し、同年11月に「トランス・アトランティック/トランス・パシフィック」（全4回）、2011年10月には「歴史のなかの感覚変容」（全4回）を開催
- **国際シンポジウム等**
国際コンファレンス「江戸川乱歩とグローバル文化としてのモダニズム（2007.12）、国際ワークショップ「東南アジアとの通路—日本文学・文化研究理論を考える」（2009.3）、国際シンポジウム「21世紀の風景表象—風景の構築と自然の認識」（2011.10）
- **各プロジェクト研究によるシンポジウム、研究会、ワークショップ**
国際シンポジウム「アジアにおける英語教育」（2009.1）、国際ワークショップ「バックラッシュ時代の平和構築—女性国際戦犯法廷から10年を迎えて」（2010.12）、国際講演会「ヴィルヘルム・フォン・フンボルトと世界の言語」（2011.1）

所長	崎山 政毅（文学部・教授）
主な研究拠点	立命館大学（衣笠キャンパス） 国際言語文化研究所
お問合せ先	立命館大学 研究部 リサーチオフィス（衣笠）内 国際言語文化研究所事務局 TEL: 075-465-8164 FAX: 075-465-8245 E-mail: genbun@st.ritsume.ac.jp URL: http://www.ritsume.ac.jp/acd/re/k-rsc/lcs/lcs_index.htm